時事新報

千嶋艦事件及び領海問題

上海なる英國上等裁判所が千嶋艦衝突事件の訴訟に對して下したる判決の要領は此頃の紙上に詳記したるが如し其判決の不當なるは申す迄もなく殊に前裁判破棄の理由として擧げたる日本領海云々の論據の如き無稽の其だしきものにして世間の論者が新聞に演說に之を論破し或は國際問題として爭はざる可らずとまで極言するものおるも國民の情として決して無理ならず我輩に於ても之に對するの情は世の論者に讓らざるみとなれども右の判決は只上海なる彼の上等裁判所が前裁判を破棄したるまでの手續にして本事件の訴訟は是れにて終を告げたるに非ず尙は此上にも事の直曲を爭ふの道は明に存するのみならず既に我政府にては右の判決を不當なりとして英國の樞密院に上告するみとに決したるよしなれば今日は輕卒に其是非を論ずるの場合に非ず須らく心を靜にして其判決を待つ可きのみ若しも彼の樞密院の判決にして上海裁判の判決と說を同ふし不當の裁判を下すみともわらば其時こそは大に之を論して其非を鳴らすも可なり或は事の次第にして國際問題の性質を帶ぶるものもわらば彼政府と談判を開て之を爭ふも固より其處なれども裁判事件の尙は未だ終結を告げざるの今日に當り遽に之を云々して國際問題など提起するが如きは太早計の譏を免れざる可し故に我輩は姑く筆を收めて終局の結果を待つものなれども彼の領海云々の問題に至りては訴訟事件とは全く別なるのみならず日本內海の日本の領海たるとは明々白白の事實にして假ひ外國の裁判所が如何なる判決を下せばとて其判決は此事實を抹殺し得べきに非ず日本の政府は日本の國權に據りて其領地を處置するの自由あるみとなれば我輩は此際に當り當局者に向て大に所望の個條ありと云ふは外ならず內海に特別航則を規定し內外の船舶をして一樣に之を守らしむるの一事なり彼の外國の船舶が不案內なる內海に入りて無理なる航路を取り屬は衝突の危險を引起すが如きは航則の守る可きものなきが爲めにして其不都合は言ふまでもなく又彼の國人等が我庭園の泉水に等しき內海を世界一般の海上と同樣に謂て端なく今回の如き不法の判決を下すに至りしも畢竟我國に航則の設なく其取締の不完全なるよりして年來の習慣以て彼等の鮮見を養成したるの事情なきに非ざれば此際內海の航則を規定して其取締を嚴にするの一事は最も肝要なる可し我輩は盲て千艘艦衝突の當時に於て此事に就き意見を記して當局者の注意を促したるみとあり其大要は左の如し

從來外國船の我內海を航するや往々無理なる航路を取りて之が爲めに屬は他船をして避けしめ又は遭難群集の中なぜを通過して覆沒破壞せしめたるの例さへも多し畢に不時の災難として看過す可きものに非ず畢竟かゝる不都合の生ずるは我內海に特定の航則なきが故なりと我輩の常に遺憾に思ふ所なり本來內海は譬んで宇の如く眞の內海にして之を一家に喩へば庭園の泉水に異ならず畢竟宜の爲めに他人の通過を許し置くまでのみとなれば主人の都合に由り當分の內通行禁用の札を立つるも他人に於て彼れ是れ云ふの權利はある可らず若しも一旦かゝる禁制を定むるときは外船の西より東に來るものは氣の毒ながら薩摩沖を經て四國沖を迂回するの公道に由るの外なかる可し然れども斯くの如き窮屈の處置は公共の便利に少なからざる關係を及ぼして主人の好まざる所なれば爰に嚴重なる特別港則を設け苟も內海を通過する船舶は內外の區別なく之を守らしむるみと適當の處分なる可し抑も我內海には屈曲の多き處あり、嶋嶼の散在する處あり、海幅の殊に狹き所あり、潮流の急激なる處あり、漁舟の群集する處あり、海底深淺の差遽に變ずる處あり、千差萬別にして航海者は注意に注意を加ふ可き處なり而して航則を定むるにも精粗の別あれども先づ其大體を云へば一千噸以上の船舶は晝間は七八ノット日沒後夜間は五六ノットの速力と定め殊に前述の如き難處を經過し又は兩船相遇ふときは更に速力を遲緩ならしめ又船中に於ては甲板上に在る見張番の數を二倍し通常二人のものなれば內海通過の間は四人と爲し四人なれば八人と爲して一層見張に注意せしめ又揖取の人數も增して臨時急遽の合に聽じ得るの用意肝要なり其他舵燈は殊に光力明透のものを用ひしむる等最も大切なる可し陸上の市街に於てさへ車馬の往來には自ら法則ありて一定の速力を超ゆるみとを許さず又曲角、橋梁等の場所に至れば進行を遲緩ならしむる等夫れ〳〵定めあるみとなれば況して危險の多き海上の船舶には取締の規則を欠く可らず彼の蘇士運河の如き嚴重の航則ありては世人の遍く知る所なるに今日に至るまで我內海に此設なかりしみを我輩の遺憾とする所なれ云々　（本年一月八日の社說）

或は論者の中には內海の我領海なるみとを世界各國に宣言す可しなぜの說もあるよしなれども內海の我領海たるみとは明白の事實にして今更ら宣言するの必要もなかる可し我輩は只前記の趣旨に基き一日も早く特別航則を規定發布し內外の船舶をして一樣に之を守らしめ以て其取締を嚴にせんみとを當局者に勸告するものなり

雜報

○米國銀行閉店の數　合衆國政府に於て取調べたる統計に據れば本年一月より九月に至るまで同國に於て營業を停止したる州立及び私立銀行の數は合計五百六十行にして其內、後に開業したるもの七十行あり尙は右州立及び私立銀行の統計を細別すれば左の如しと云ふ

州名	停業數	開業數
アラバマ	五	〇
アルカンサス	四	〇
カリフォルニヤ	二三	〇
カロラドー	二六	〇
デラヴエヤ	一	〇
コロンビヤヂスドリクト	二	〇
ニューゼルセー	一	〇
ニューメキシコ	一	〇
紐育	二五	二
北カロライナ	四	〇
ケンタッキー	七	〇
ルイヂヤナ	一	〇
メーン	一	〇
マツサチユーセツツ	三	一
ミシガン	一六	〇
オクラホマ	一	〇
オレゴン	一	〇
ペンシルヴアニヤ	一四	〇
ロードアイランド	一	〇
南カロライナ	四	〇
テンネツシー	二	〇
テキサス	一六	〇
北ダコタ	二	〇
オハヨー	一七	〇
フロリダ	三	〇
ジヨーヂヤ	二	〇
アイダホー	五	〇
イリノイス	五	〇
インヂヤナ	一	〇
インヂヤン州外地	三	〇
アイオワ	四	〇
カンサス	一	〇
ユタ	八	〇
ヴアーモント	五	〇
ヴアージニヤ	二	〇
華盛頓	九	〇
西ヴアージニヤ	一四	〇
ミネソタ	二	〇
ミツソーリー	一	〇
モンタナ	三	〇
チブラスカ	二四	〇
ニューハンプシヤー	二	〇
ウイスコンシン	五	〇
ワイオヨング	六	〇
合計	三一四	五六〇

○鐵道の乘客目安　新たに鐵道布設を計畫するは當ら其乘客の數を豫定し以て豫算を組立つるには執れも其沿道に於ける馬車人力車、若しくは徒步にて往復する人數及び旅人宿の宿泊人等を取調べ以て其乘客の數を假定するの例なるが偖て此の豫算は實際開業の曉に至り適中するもわり或は然らざるもわりて一樣ならざれども此事に就て兼て其筋に於て既設鐵道の乘客數に據り計算せしとわりしに日本鐵道、山陽鐵道、關西鐵道の如き重なる大會社線は孰も乘客一人に就て廿二哩前後を乘る割合となり各會社とも差たる懸隔なかりしが獨り此例に異なりしは新橋より神戶に至る東海道線にして同線の乘客は一人に付四十哩以上に及びたり之れ同線は單に其沿道地方の人民が乘車するのみならず東西兩線を連絡して國の中央に至るが故に九州、山陽、奧羽の人迄も乘もの多く之に加ふるに本線の通ずる沿道の人民は他地方よりも進步して汽車に乘る度數の多きとに據ものなれば之れは先づ取除として以上各鐵道會社の乘客數を以て目下工事なる北越線、奧羽線等に就て其區域內に屬する人口を取調べて之を比例せしに大抵既設會社と同樣の乘客あるべき結場を得たりと左れば右の如く其地方の人口と鐵道の體數と相乘まれば大抵乘客の數を豫算する丈けの目安となるべし併しながら荷物に至つては何を以て目安とすへきや未だ然るべき方法を發見せずと云へり

○土浦線と常磐線　東京より仙臺に達するには今の日本鐵道會社線の通ずる內地線と今一つは蒲水戶街道より常磐の東部を通ずる海岸線との二線ありて同會社は內地線に對して此の海岸線をも併せて布設する爲め既に其筋に出願し又技師を派して實地測量中なるが今その海岸線の模樣を聞くに同線は現線の川口附近より分起して我孫子に至り水戶街道に沿て取手、若柴なんぞの村落を經て土浦に達し夫より石岡に至りて同街道を離れ水戶線の鯉淵、水戶兩停車場の中間に於て現線に合す川口より此處に至る凡そ六十哩にして之を土浦線若しくは南線（現線に對して）と稱す水戶より北は一直線に海岸の國線に合す此間即ち水戶にして其中間に在る西より此線を稱して常磐線と稱して百八十八哩、之に對して常磐より上野に達する臺に至る海岸線は二百十五哩にして其中間は二百十五哩に比し哩を短縮するに至る其進む所もあれども海岸線を以て布設せらるゝ迄遠かならしむるを得べしたる曉には乘客は孰れも勾配の緩なるは將來永此の如く海岸線は現線に對して屈强の免許を得るの必要を認めが鐵道局に於ても同線のなればとて技師をし

○關西と信州　關西事なり信州は數十年來異にして同一視すべかず絲家は成行き賣りを主易に賣出さゞる事其最州は是れ迄鍛錬したるより前借をなし之を資の間屋より年々信州に居るものにて製絲家は其賣却の事は問屋に一年或は二三年の平均費用の低廉なるは他に益を得て益す成行き賣引換へ關西地方就中近の如きは歐洲向き細絲とする名譽心さへあり從ずして製絲器械に り前借をなすの必要も ぐ心配もなき爲め年中 びなれば何時迄も手放 て横濱に出荷せざる程 一時細絲を製して成行 層不拔けどなりたれど の割合に餘程多かりし ありしものなれば成行 より利害同じからざれ 持せんなぜゝは先き事 き事なりず金持ちは 流るゝは兩地方の驚 **○製糸會社製品の株式會社**は明治二十三へたる結果として近來 起き就中紐軍艦紐へ 套地として重寶がられ 部等より注文あり年々 車人力車乘用の騎掛類 遠しれると又一には船 る高價になりし爲めな